

まちのスケッチブック

夢をかたちに…あたらしいまちづくり 市政報告 VOL.34

民主主義の コスト

ちよまつ ひろやす

泉佐野市議会議員 千代松 大耕 (32歳)



民主主義の コスト

第44回衆議院議員総選挙におきまして、自由民主党が改選議席を大幅に上回る歴史的な大勝をあげました。自民党だけで296議席、実に公明党との与党での合計では、327議席で衆議院議席での3分の2以上を占めるといった歴史的な大勝であります。この数字は、「郵政民営化関連法案」が再度参議院で否決されたとしても、衆議院で再議決できる議席数であります。事前のマスコミによる調査で、自民党の優勢が伝えられていましたが、このような大勝になるとは、本当に驚きでありました。特に大阪2区で公示の数週間前に公認された川条しか候補が、元大阪府知事である佐藤義詮から3代続く佐藤章候補を打ち破り選挙区で勝ち上がったことはとても驚異的なことであり、今回の自民党に吹いた風を象徴していました。

小泉首相が掲げる「郵政民営化」が国民からの圧倒

的な支持を得たわけであります。今回の選挙では、「郵政民営化」「改革を止めるな」といった「わかりやすい」言葉が国民の心に響いたのではないかと考えます。大量に議席を減らした民主党のマニフェストは、とても「わかりにくい」ものであり、また「高速道路無料化」などの実現できるかどうかわからない項目が再度盛り込まれていたことから、多くの国民のみならず私も不信感を抱かれたのではないかと考えています。

議員をやらしていただいていると感じ

るのは「有権者の方々に理解してもらおう」との難しさであります。私の経験上、「1つのテーマでさえ多くの有権者の方々にしっかりと内容を理解して頂く」との難しさを感じる時があります。今回の選挙では、「郵政民営化」に焦点があてられ、「郵政民営化」に反対する勢力は改革に抵抗する勢力」というた非常にわかりやすい構図が多くの国民に理解されました。

しかし市政の場合は一点に焦点をあてて政策を訴えていくという事は非常に困難であります。一番市民の方々の身近に存在でありますので、直に聞く声というものは非常に多岐に渡っております。やはり多岐に渡る争点を、市民の方々に理解していただくために、選挙の数週間前だけではなく、地道に普段から訴えていかなければならないと考えました。

今回の衆議院の総選挙では、全国で約700億円の費用がかかったと言われております。また泉佐野市内の衆議院選挙総費用予算は4,100万5千円で、それを小選挙区の当日有権者7万9,815人で割った金額が「513円」となります。

この「513円」が高いか安いかは、それぞれみなさまの価値観によって違ってくると思います。また小選挙区の投票者数が5万296人(63.02%)であったため、一人あたりの選挙の「コスト」が結局は「815円」となっていました。こういった選挙の費用は「民主主義」を維持していくためのコストであります。選挙は国民の大切な権利、民主主義のための権利であります。今後はこういったことも意識していただきながら貴重な選挙権を有効にしていただければと存じます。

千代松大耕メールマガジン

「千代松大耕のニュースレター」を発行しています!

市政や議会の情報をいち早く市民のみなさまに、お伝えするためにメールマガジンを発行しております。(週に3~4回は、発行しています)

メルマガの登録は、私のホームページ、または下記のアドレスからできます。

ホームページアドレス：<http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>

登録ページアドレス：<http://www.mag2.com/m/0000156662.html>

ひとりでも多くの方に登録していただければ幸いです。

※検索サイトで「千代松大耕」と検索していただければ、私のホームページにヒットします。また、携帯電話からは登録できません。

中学校視察



私が委員長を務めさせていただいております厚生文教委員会では市内の全中学校の視察を行なっています。9月議会の会期中にも長南中学校と佐野中学校の視察を実施いたしました。

■長南中学校 (9月15日)

長南中学校の名前の由来は、その校区が泉佐野市に編入合併される前の長滝村と南中通村であり、その頭文字を取ったものであります。

長南中学校の視察で印象に残ったのが、整理整頓された図書室と新しい屋内運動場でした。図書室は以前に図書館司書が配置され、それ以降も嘱託の教員さんが引き継いで図書室の整理をされております。屋内運動場は平成14年度に新築の工事が始まり、平成15年3月に完成し、その年の卒業式から使われております。

長南中学校では、全国平均に比べても不登校生徒が多く生徒の約6%にあたるとの報告が校長先生から

ありました。不登校の原因の主な理由は「いじめ」ではなく、怠学によるものであるとのことでありました。奥田校長先生と高橋教頭先生は色々な学校の取り組みを熱心に話してくださいました。これからもお二人のリーダーシップのもとで学校の問題が解消し、様々な取り組みがより活発化していくことを願っています。

■佐野中学校(9月16日)

佐野中学校は、私の母校であり、現在も青少年指導委員会の定例会などで月に最低回は訪問しています。しかし厚生文教委員会の視察という、通常とは違ったかたちで訪問させていただくことにより、また新しい角度から色々と参考になることが多くありました。

まず授業風景を見せていただきましたが、「時佐野中学校は非常に「荒れ」していて、「このままでは、体どうなってしまうのだろうか」と思った時期もありました。しかしその後、現在の

浦部校長先生が赴任されてから現在に至るまでかなりの改善が見られました。また障害のある車イスの生徒に対して全校的にやさしい



取り組みがされており、人権教育がよく浸透されているということもわかりました。「荒れ」に対しては改善の方向に進んでおりますが、校長先生いわく、「まだ気が抜けない状態」ということであります。今後も浦部校長先生の強いリーダーシップのもとで、佐野中学校の健全育成をより一層進めていただきたいと思います。

第9回「かけはし」開催

千代松大耕が市民のみならずと市政をつなぐ「かけはし」となるため、市政懇話会「かけはし」を開催しています。どなたの参加もOKです。興味のある方は下記の連絡先まで連絡ください。

千代松大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部卒業
- 1998.7 Lincoln University MBA 取得
- 2003.3 大阪府立大学大学院修了
- 2005.3 和歌山大学大学院修了
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選
- 【議会】
- 2003.3 予算特別委員長
- 2003.5 市町村合併検討委員長
- 2004.5 第61代副議長
- 2005.5 厚生文教委員長

【現在】

- (社) 泉佐野青年会議所理事
- (NPO 法人) 大阪夢づくり協議会理事
- 泉佐野市バレーボール連盟会長
- 佐野中校区青少年指導員会幹事長
- 同大アメフト部 OB 会常任理事
- 自由民主党泉佐野支部政務調査会長

日時 平成17年10月27日(木)
19:30~20:30
場所 泉の森ホール 2F
小会議室
参加費 無料

連絡先 泉佐野市松原2-5-31
TEL 58-1708
FAX 69-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>
メール chiyoma51@hotmail.com
発行部数累計 406,500部 2005.10第34号

* 「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。